協力事業者向け
ステッカー

おやっ？と思ったら
地域包括支援センターにお知らせください

配達で・・・

- ポストに郵便物等がたまっている
- 洗濯物が何日も干しっぱなし
- 敷地内や家の中に物があふれている
- 異臭がする
- 雨戸が閉じられたままになっている

店舗で・・・

- いつも同じものばかり買う
- いつもお札で支払う、小銭が出せない
- 理由もなく急に怒り出す
- 暑いのに厚着で外出
- 急激に痩せた
- しばらく見かけない

金融機関で・・・

- 通帳の再発行を繰り返す
- たびたび暗証番号を忘れる
- 通帳を盗られたと訴える
- カード類の区別がつかない
- 通帳の見方がわからない
- 簡単な説明が理解できない

地域包括支援センターにご連絡・ご相談ください

連絡先

北部包括支援センター ▶ ☎5428-6891 fax3496-5215
東部包括支援センター ▶ ☎5724-8030 fax3715-1076
中央包括支援センター ▶ ☎5724-8066 fax5722-9803
南部包括支援センター ▶ ☎5724-8033 fax3719-2031
西部包括支援センター ▶ ☎5701-7244 fax3723-3432

開設時間

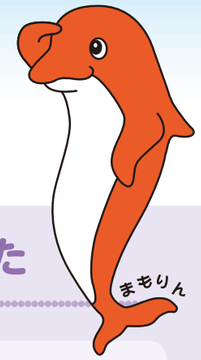
月曜から金曜日　午前8時30分から午後7時まで
土曜日　午前8時30分から午後5時まで
（祝・休日と年末年始を除く）

地域包括支援センターとは？

地域包括支援センターは、住み慣れたまちでだれもが安心して住み続けられるように、保健・福祉の面から区民のみなさんを支援する窓口です。専門知識を持った職員が、介護保険や認知症、在宅療養などの相談をお受けし、適切な制度やサービスの利用につながるよう支援します。

また、本人や家族からの相談だけでなく、区民や区内で活動する事業者から、日常生活や仕事のなかで気づいた高齢者などの小さな異変をご連絡いただくことで、必要な支援へとつなげていきます。

●こんな連絡がありました



新聞販売店からの連絡

Aさんは新聞を定期購読されていました。ある日、新聞配達員がいつものように届けに行くと、Aさんのポストに数日分新聞が取り込まれずにたまっているのに気づきました。Aさんは一人暮らしであり、今までこんなことはなかったので心配していると、地域包括支援センターに連絡がありました。

地域包括支援センターの職員がAさんのお宅に訪問すると、家の中で動けなくなっているAさんを発見しました。すぐに救急車を呼び、Aさんのご家族にもご連絡しました。早く異変に気づけたことで、Aさんは一命をとりとめることができました。

知人からの連絡

高齢者夫婦のCさんは、介護保険の申請はしたものの、サービスはまだ利用していませんでした。最近、Cさんの体調が悪く、食事の準備が負担になっている様子で心配だと、近所に住む知人から地域包括支援センターに連絡がありました。

地域包括支援センターの職員がCさんのお宅に訪問して状況をお聞きし、配食サービスを利用することとなりました。その後、担当のケアマネジャーも決まり、現在もサービスを活用しながらご自宅にて生活されています。